

教育局

平成19年度事務事業評価一覧

No	部名	担当課	予算上の 事務事業名	一次評価							今後の 進め方	事業所管課長説明	今後の 進め方	二次評価結果 コメント	備考
				妥当性	有効性	効率性	民間 導入	自動 判定	今後の 進め方						
1	教育総務部	総合学習センター	施設維持管理費	A	B	B	無	★★★	現状維持	市民の生涯学習活動を支援するとともに、学校教育及び社会教育の向上に必要なため、今後も現状維持を行なうことが望ましい。	現状維持				
2	教育総務部	総合学習センター	教材作成事業	A	A	A	無	★★★	拡充・充実	・小学校社会科副読本「さがみはら」、中学校社会科副読本「私たちの相模原」は、津久井4町との合併に伴い2年をかけて全面改定を進める。	拡充・充実	・津久井地域との合併に伴い、新市のよさや一体感をだせるような副読本づくりが必要となる。			
3	教育総務部	総合学習センター	施設運営事業	A	A	A	無	★★★	拡充・充実	・教育の抱える今日的課題に対応していくために、関連書籍の購入、閲覧は必須の事業と考える。	拡充・充実	・より多くの人が書籍を利用する方を考えていく。			
4	教育総務部	総合学習センター	学校情報教育推進事業	A	B	B	無	★★★	拡充・充実	・情報機器の導入時期の整理、機器サポート業務等を整理することにより、経費の削減を図りたい。 ・国に動向を含みながらも、整備による事業評価を学校に対して行い、必要性の優先順位を確認する。	現状維持				
5	教育総務部	学務課	相模原市奨学金貸与事業	A	B	B	無	★★★	現状維持	経済的な理由により修学が困難な者に対して行っている支援であり、今後も事業を継続していく必要がある。	現状維持				
6	教育総務部	学務課	特別支援学級児童生徒就学奨励事業	A	A	A	無	★★★	現状維持	就学援助費は、相模原市アクションプランの扶助費の削減のため認定基準を見直す方向であり、今後それに伴って、支弁区分2の認定倍率の見直しを検討する必要がある。	現状維持				

教育局

No	部名	担当課	予算上の 事務事業名	一次評価						今後の 進め方	事業所管課長説明	今後の 進め方	二次評価結果コメント	備考
				妥当性	有効性	効率性	民間導入	自動判定	今後の進め方					
7	教育総務部	学務課	各種教育研究大会等分担金	A	A	A		★★★★	現状維持	本市の学校教育水準を向上させていくために必要な経費である。	現状維持			
8	教育総務部	学務課	小・中学校運営費	A	B	A		★★★★	現状維持	学校運営のための経費であり、最低でも現状を維持する必要がある。	現状維持			
9	教育総務部	学務課	小・中学校教材等整備事業	A	A	A		★★★★	現状維持	良好な学校環境づくりを進めるため、施設整備に連動した備品整備は必要である。	現状維持			
10	教育総務部	学務課	小中学校維持管理費	A	A	A		★★★★	現状維持	小中学校を維持していくための基本的な経費であり、最低でも現状を維持する必要がある。	現状維持			
11	教育総務部	学校保健課	学校環境衛生事業	A	B	B		★★★★	現状維持	環境衛生検査にあつては、学校保健法の規定に基づき行っているものであり、学校薬剤師が検体等の採取に直接あたるため、担当する学校の状況を事細かに把握でき、適正な指導を行え有効に機能している。	現状維持			
12	教育総務部	学校保健課	保健室管理運営事業	A	A	B	無	★★★★	現状維持	学校保健法に基づき設置された保健室の維持管理事業であり、費用対効果、運営状況等適正に実施されている結果を示している。	現状維持			

教育局

No	部名	担当課	予算上の 事務事業名	一次評価							今後の 進め方	事業所管課長説明	今後の 進め方	二次評価結果コメント	備考
				妥当性	有効性	効率性	民間導入	自動判定	今後の進め方						
13	教育総務部	学校保健課	児童生徒災害共済負担金等事業	A	A	B	無	★★★	現状維持	学校管理下の事故に係る保護者負担の軽減や賠償金の支払いを担保するための事業であり、当該事業の大きな部分を占めるスポーツ振興センター災害共済給付の費用対効果は大きく、有効に機能している結果を示している。	現状維持				
14	教育総務部	学校保健課(南部学校給食センター)	施設維持管理事業	A	A	A	無	★★★	現状維持	調理、洗浄業務に支障を与えることなく、業務遂行ができています。今後も現状を維持し事業を継続する。	現状維持				
15	教育総務部	学校保健課(南部学校給食センター)	施設維持補修事業	A	A	A	無	★★★	現状維持	給食業務に支障を与えることなく安全かつ適正に運営できている。今後も現状を維持しながら事業を継続する。	現状維持				
16	教育総務部	学校保健課(南部学校給食センター)	配送委託事業	A	A	A	0	★★★	現状維持	安全な給食を正確に配送するために、現状を維持する。	現状維持				
17	教育総務部	学校保健課(南部学校給食センター)	給食受入事業	A	A	A	無	★★★	現状維持	安全かつ適正に給食の受入、配食を行っている。今後も現状を維持しながら事業を継続していく。	現状維持				
18	教育総務部	学校保健課(清新学校給食センター)	給食受入事業	A	A	A	無	★★★	現状維持	安全かつ適正に給食の受入、配食を行っている。今後も現状を維持しながら事業を継続していく。	現状維持				

教育局

No	部名	担当課	予算上の 事務事業名	一次評価							二次評価結果		備考
				妥当性	有効性	効率性	民間導入	自動判定	今後の進め方	事業所管課長説明	今後の進め方	二次評価結果コメント	
19	教育総務部	学校保健課(清新学校給食センター)	施設維持補修事業	A	A	A		★ ★ ★	現状維持	給食業務に支障を与えることなく安全かつ適正に運営できている。今後も現状を維持しながら事業を継続する。	現状維持		
20	教育総務部	学校施設課	小学校・中学校・幼稚園校舎等維持管理事業	A	A	B	無	★ ★ ★	現状維持	施設・設備の維持管理は、児童・生徒等の安全確保及び事故防止に最重要であると考えられるため、今後も計画的に維持管理を遂行できるよう努めていきたい。	現状維持		
21	教育総務部	学校施設課	小学校・中学校校舎等環境対策事業	A	A	B	無	★ ★ ★	現状維持	平成12～16年度における航空機騒音等対策の調査・研究等をふまえ、平成16年度より実際の冷房設備設置等に着手し、児童・生徒等の教育環境の改善を推進してきた。今後も着実に遂行できるよう努めていきたい。	現状維持		
22	教育総務部	学校施設課	小学校・中学校校舎改造事業	A	A	B	無	★ ★ ★	拡充・充実	本事業は、昭和60年代から、建築後20年～30年を経過した校舎を対象に工事を進めてきた。今後、建築後30年を経過する校舎が急増することから、遅滞することなく計画的な事業の執行に努めたい。	現状維持		
23	教育総務部	学校施設課	小学校・中学校校舎等整備工事設計等委託事業	A	A	B	無	★ ★ ★	現状維持	合併による小・中学校数の増加及び学校からの要望等の増加により、既存の施設・設備の維持補修等業務が量・質ともアップしたため、学校施設整備業務全体の効率化を図る上で、小学校・中学校工事設計等委託は必要不可欠であると考えられる。	現状維持		
24	教育総務部	津久井教育課	体育指導委員活動推進事業	A	A	A	無	★ ★ ★	現状維持	体育指導委員は、スポーツ振興法に基づき設置されており、市民のスポーツ活動促進のための啓発活動等に尽力している。今や市民スポーツの振興に必要な組織である。活動促進のため現状維持していきたいと考えている。	現状維持		
25	教育総務部	津久井教育課	学校体育施設等開放事業	A	A	A	無	★ ★ ★	現状維持	学校体育施設である体育館及びグラウンドを市民に開放することで、市民の健康増進や仲間づくり等に貢献している。生涯スポーツの場として、毎年延10万人を超える利用状況を見ても今後も継続していくべき事業と考える。	現状維持		

教育局

No	部名	担当課	予算上の 事務事業名	一次評価					今後の 進め方	事業所管課長説明	今後の 進め方	二次評価結果コメント	備考
				妥当性	有効性	効率性	民間導入	自動判定					
26	教育総務部	津久井教育課	学校プール開放事業	A	A	B	無	★★★	現状維持	身近な学校のプールを児童等の市民に利用開放し、自ら楽しんでスポーツに親しむ機会を提供することは子どもの将来にとっても大事なことと思慮する。現状維持とする。	現状維持		
27	教育総務部	津久井教育課	各種体育大会等実施事業	A	A	A	無	★★★	現状維持	市民の体力づくりや競技力向上のため、各種スポーツ教室を実施しているため、今後も現状維持したいと考えている。	現状維持		
28	教育総務部	津久井教育課	地域体育活動事業	A	A	A	無	★★★	現状維持	市民一人ひとりが自らがスポーツ活動に取り組むことが生涯スポーツ活動の基本と考える。地域におけるスポーツ・レクリエーション活動を通して、コミュニティづくりに大きく貢献しているため、今後も現状維持としたいと考える。	現状維持		
29	教育総務部	津久井教育課	津久井又野公園運動施設管理運営事業	A	A	A	無	★★★	現状維持	テニスコート、多目的グラウンド及びジョギングコース等を備えている津久井又野公園は、毎年25,000人以上の市民の利用がある。今後も現状維持したいと考える。	現状維持		
30	教育総務部	津久井教育課	スポーツ広場等維持管理事業	A	A	A	無	★★★	現状維持	多目的グラウンドやジョギングコース等を備えた串川、鳥屋及び青野原グラウンドは、毎年63千人以上の市民に利用されている。生涯スポーツの場として、今後も継続して市民の利用に供していく。	現状維持		
31	教育総務部	津久井教育課	体育施設等維持補修事業	A	A	A	無	★★★	現状維持	市民に安心して、気持ち良く利用してもらうためにはスポーツ施設その他、フェンス等周辺の整備も必要である。今後も大勢の市民に愛される施設づくりが必要であるため、現状を維持する。	現状維持		
32	教育総務部	津久井教育課	文化財保護管理事業(津久井郷土資料室管理運営事業)	A	A	A	無	★★★	現状維持	合併前は旧津久井4町で運営してきた。津久井特有の貴重な資料を所有し、関東近県から研究者が調査研究のため訪れる。現地で保存することに大きな意義があり、現状維持すべきものと考えている。	現状維持		

教育局

No	部名	担当課	予算上の 事務事業名	一次評価							二次評価結果		備考
				妥当性	有効性	効率性	民間導入	自動判定	今後の進め方	事業所管課長説明	今後の進め方	二次評価結果コメント	
33	教育総務部	津久井教育課	青根公民館施設維持管理事業	A	A	A	無	★★★	現状維持	青根地区における集会及び学習の場として利用されている。施設は老朽化しているが、長年、地区住民に愛されてきたからこそ存続してきたといえる。現状維持していきたい。	現状維持		
34	教育総務部	津久井教育課	尾崎琴堂記念館管理運営事業	A	A	B	無	★★★	現状維持	琴堂こと尾崎行雄の生誕地に立つ記念館であり、遺品等を展示する場所としては最適地である。合併以後旧市から多くの市民が訪れ学習の場となっている。現状維持とすべきものとする。	現状維持		
35	教育総務部	津久井教育課	津久井文化福祉会館管理運営事業	A	A	B	無	★★★	現状維持	公民館と老人福祉センターの複合施設であり、幼児から高齢者までを対象に文化活動から高齢者の生きがいがづくりの場として活用されている。現状維持とする。	現状維持		
36	教育総務部	津久井教育課	家庭教育啓発事業	A	A	B	無	★★★	現状維持	昨今の家庭や学校を取り巻く環境は、悪化している状況である。その中でますます家庭教育に係る活動を活発にする必要がある。現状維持とする。	現状維持		
37	教育総務部	相模湖教育課	相模湖レガッタ開催事業	B	B	B	有	★★	現状維持	当該事業は、ボート競技としての専門性が非常に高く、また参加資格は、日本ボート協会加盟団体の登録選手であることが要件であることから、より専門性を有した団体が実施することが望ましい。	現状維持		
38	教育総務部	相模湖教育課	相模湖駅伝競走大会開催事業	B	B	B	無	★★	現状維持	相模湖町地域のスポーツ振興及び地域の一体感の醸成に一定の役割を果たしている。	現状維持		
39	教育総務部	相模湖教育課	地域婦人団体育成事業	B	B	B		★★	現状維持	女性の活動の場の拡大に貢献している団体に対する助成として意義がある。	現状維持		

教育局

No	部名	担当課	予算上の 事務事業名	一次評価							二次評価結果		備考
				妥当性	有効性	効率性	民間導入	自動判定	今後の進め方	事業所管課長説明	今後の進め方	二次評価結果コメント	
40	教育総務部	相模湖教育課	相模湖社会体育振興会助成事業	B	B	B		★★	現状維持	旧相模湖体育協会に所属する団体として、これまで地域に密着した活動に存在意義は認められる。	現状維持		
41	教育総務部	相模湖教育課	学校体育施設等開放事業	A	B	A	無	★★★	現状維持	屋内スポーツの交流を通じ、体力の維持、健康の増進等に十分寄与している。	現状維持		
42	教育総務部	相模湖教育課	学校体育施設等開放事業	A	A	B	無	★★★	現状維持	3校で延べ67日間、学校プールの開放を実施し、夏季休暇中の児童の健康増進に寄与できた。	現状維持		
43	教育総務部	相模湖教育課	体育施設等維持補修事業	A	B	B	無	★★★	現状維持	各施設とも業務に支障がなく適切に維持管理できている。	現状維持		
44	教育総務部	相模湖教育課	相模湖林間公園運動施設管理運営事業	A	A	B	有	★★	見直し	施設の管理運営は適正になされているが、さらに効率的な運営を図る必要がある。	見直し	施設の活性化に向けた管理運営のあり方について検討する。	
45	教育総務部	相模湖教育課	学校給食単独校運営費	A	A	A	無	★★★★	見直し	今後も、相模湖町における小学校給食を推進していく。	見直し	相模湖地域に最善の学校給食実施の方策を検討する必要がある。	
46	教育総務部	相模湖教育課	PTA育成事業	A	A	B		★★★	現状維持	学校教育を取り巻く課題が多くある中で、PTAが果たす役割は非常に多く、また重要であり、支援は適切である。	現状維持		

教育局

No	部名	担当課	予算上の 事務事業名	一次評価							二次評価結果		備考
				妥当性	有効性	効率性	民間導入	自動判定	今後の進め方	事業所管課長説明	今後の進め方	二次評価結果コメント	
47	教育総務部	相模湖教育課	文化財保護管理事業	A	B	A	無	★★★	現状維持	神奈川県唯一の本陣として維持管理は適切に実施されている。また、小原の郷についても同様に適切に管理されている。	現状維持		
48	教育総務部	相模湖教育課	体育指導委員活動推進事業	A	A	B		★★★	現状維持	各々の地区での活動、体育指導委員主催の事業等地域スポーツ事業を通し、地域住民の健康増進に寄与すると共に、体育指導委員としての資質の向上が図られている。	現状維持		
49	教育総務部	相模湖教育課	家庭教育啓発事業	B	B	B		★★	現状維持	家庭教育の啓発をPTAへの委託事業という形で実施しているが、実施方法、実施内容について見直す必要がある。	現状維持		
50	教育総務部	相模湖教育課	公民館活動	A	A	A		★★★	拡充・充実	地域課題を解決するための地域住民の活動拠点として、公民館における学級講座の開催は重要である。	現状維持		
51	教育総務部	相模湖教育課	公民館施設維持管理事業	A	A	A	無	★★★	現状維持	適切な維持管理ができています。	現状維持		
52	教育総務部	相模湖教育課	スポーツ広場等維持管理事業	A	A	A	有	★★	見直し	維持管理にあたっては、より効率的で高いサービスを提供するため指定管理者制度の導入を検討する必要がある。	見直し	・施設の活性化に向けた管理運営のあり方について検討する。	
53	学校教育部	学校教育課	学校安全教育推進事業	A	A	B	無	★★★	拡充・充実	児童が自分の身を自分で守るためのCAPワークショップ(教育プログラム)を全小学校で実施し、児童の安全に関する意識の高揚を図ることで、より安全が確保され、さらに本年度は全中学校で実施するよう拡充する予定であり、事業の充実を図っている。	拡充・充実	児童・生徒の安全、安心に資するとともに、人権に対する理解を深める取組みであり、対象者を拡充する方向で事業の実施を進める。	

教育局

No	部名	担当課	予算上の 事務事業名	一次評価							二次評価結果		備考
				妥当性	有効性	効率性	民間導入	自動判定	今後の 進め方	事業所管課長説明	今後の 進め方	二次評価結果コメント	
54	学校教育 部	学校教育 課	さがみ風っ 子文化祭事 業	A	B	B	無	★ ★ ★	拡充・ 充実	本市の特色ある教育活動の一環として、自ら学び・自ら考え・主体的に問題解決できる資質や能力の基礎を培うために、本市の学校教育の充実・発展に寄与している。本年度は、合併により新市域となる旧津久井町・相模湖町の小・中学生の一体感を醸成するための交流事業を実施、19年度は旧城山町・藤野町の交流事業を実施するため、拡充・充実が必要である。	拡充・ 充実	本市における特色ある教育活動の一つとして対象を拡大する方向で事業の実施を進める。	
55	学校教育 部	学校教育 課	学校情報教 育推進事業	A	B	A	無	★ ★ ★	現状維 持	情報教育の推進について、業務の大半は総合学習センターに移管されたものの、LL教室の修繕、学校教育課における業務用PCなど、必要性の高い事業内容となっている。	現状維 持		
56	学校教育 部	学校教育 課	国際交流教 育推進事業	B	B	A	有	★ ★	見直し	事業の成果については各校における報告会の実施など、概ね良好と認められる。	見直し	旅行会社への委託など、より効率的な業務執行の方法を検討することで、重複業務の効率化を図り、事業効果を高める。	
57	学校教育 部	学校教育 課	児童・生徒 指導推進事 業	A	A	B	無	★ ★ ★	現状維 持	各中学校区における研修会の実施、パトロールの推進など、幅広く生徒指導が推進されており、事業の成果としては概ね良好と認められる。	現状維 持		
58	学校教育 部	学校教育 課	小学校体育 準教科書等 購入事業	A	A	B	無	★ ★ ★	現状維 持	準教科書を体育の授業に活用しており、知育実技の向上に役立っており、現状を維持していきたい。	現状維 持		
59	学校教育 部	学校教育 課	障害児教育 推進事業	A	B	A	無	★ ★ ★	拡充・ 充実	特別支援教育の取組みとして、通常の学級に在籍しており、発達障害等で不応を起している児童生徒への支援や、校内の支援体制を確立していくために支援教育学習指導補助員の配置を行っていく。	拡充・ 充実	今後とも支援の必要な子どもの状況に応じた教育の推進に努める。	
60	学校教育 部	学校教育 課	地域教育力 活用事業	A	A	B	無	★ ★ ★	現状維 持	図書券以外の希望もあるが、各種講座に対応するため現状が好ましい。	現状維 持		

教育局

No	部名	担当課	予算上の 事務事業名	一次評価							二次評価結果		備考
				妥当性	有効性	効率性	民間導入	自動判定	今後の進め方	事業所管課長説明	今後の進め方	二次評価結果コメント	
61	学校教育部	教職員課	教職員健康診断事業	A	B	B		★★★	現状維持	市内小・中学校教職員を対象とした、定期健康診断を計画的に実施することができた。現状の事業を継続するとともに、更なる受診率の向上を図り、教職員の健康の保持増進に努めたい。	現状維持		
62	学校教育部	相模川自然の村野外体験教室	新市小学生交流事業	A	B	A	無	★★★	現状維持	本年度は台風の襲来により規模を縮小し順延したため、参加できない人が出て所要の成果を上げることができなかったが、旧町を理解し、新市の市民の理解と交流に有効な事業である。	現状維持		
63	学校教育部	青少年相談センター	施設維持管理事業	A	B	B	無	★★★	現状維持	地域社会における青少年の健全な育成を図るとともに、青少年の非行化を防止するため、青少年相談員を配置し指導・啓発に向けて継続してきたが、昨今の地域の教育力向上の要請にこたえるためにも、本事業を継続していくことが求められている。	現状維持		
64	生涯学習部	生涯学習課	教育委員会(生涯学習部)職場研修事業	A	A	B	無	★★★	現状維持	生涯学習を取り巻く環境の変化やこれらを踏まえた課題への対応のためには、職員の資質の向上は不可欠である。事業費については、市職員による講師で対応することによりコストを低く抑えている。	現状維持		
65	生涯学習部	生涯学習課	生涯学習施設維持補修事業	A	A	A		★★★	拡充・充実	市民が直接利用する施設であり、常に安全・清潔を保って、市民に安心して気持ち良く利用してもらうため、積極的に維持補修している。	現状維持		
66	生涯学習部	生涯学習課	家庭教育の啓発	A	A	A		★★★	拡充・充実	親子でふれあいながら体験型学習をすることで、家庭教育力の向上に資しているのみならず、個々の家庭と地域をつなぐことにも貢献している。	現状維持		
67	生涯学習部	生涯学習課	地域婦人団体の育成	A	B	B		★★★	現状維持	子育て、環境問題、福祉等、取り組むべき地域課題も多く、また公益性の高い事業を実施していることから、今後も支援育成が必要である。	現状維持		

教育局

No	部名	担当課	予算上の 事務事業名	一次評価							今後の 進め方	事業所管課長説明	今後の 進め方	二次評価結果コメント	備考
				妥当性	有効性	効率性	民間導入	自動判定	今後の進め方						
68	生涯学習部	生涯学習課	女性学習グループ育成費	A	B	A		★ ★ ★	現状維持	女性学習グループは、公民館事業のみならず、男女共同参画、子育て等事業で活躍し、より良い地域づくりに多大な貢献をしている。また、社会教育委員も選出しており、市の社会教育全般に大きな役割を果たしている。その活動を支援することは、市民全体の利益に叶うものである。	現状維持				
69	生涯学習部	生涯学習課	津久井生涯学習センター管理運営事業	A	A	B	無	★ ★ ★	現状維持	平成18年度の利用実績は、延べ約2万8,100人、延べ2,750団体となっている。合併により施設利用対象が、津久井地域から相模原市全域へと拡大されたことに伴い、バリアフリー化等の施設の改修及び市民へのセンターの認知度を上げるための周知を図る必要がある。	現状維持				
70	生涯学習部	生涯学習課	市民健康まつり委託事業(新磯公民館)	A	B	B		★ ★ ★	現状維持	多くの地域住民が参加できるよう、平成17年度からハイキングに替えてつどいの催しに事業内容を変更したことにより、事業の参加者が増えたが、平成18年度は天候の影響により、参加者が少なかった。	現状維持				
71	生涯学習部	文化財保護課	勝坂遺跡保存整備事業	A	A	A		★ ★ ★	拡充・充実	市民は、自らの視点で地域の歴史や文化を捉え、文化財の活用や地域振興のために行動しようとしている。 パートナーシップによる史跡活用をさらに定着させていく必要がある。	拡充・充実	遺跡の保存を進めるとともに、地域の活力を生かした遺跡の有効活用を図る。			
72	生涯学習部	文化財保護課	文化財調査事業費	A	A	A	無	★ ★ ★	拡充・充実	埋蔵文化財の調査は、調査結果に従い、事業者等へ適正な行政指導を行う業務であるため、継続的な調査体制の充実が必要である。	現状維持				
73	生涯学習部	スポーツ課	学校体育施設等開放事業	A	A	A	無	★ ★ ★	現状維持	各校に学校体育施設開放運営委員会を設置するなどし、開放事業を円滑に行い、身近なスポーツ施設として地域のスポーツ振興に貢献している。	現状維持				
74	生涯学習部	スポーツ課	スポーツ振興事業	A	A	A	無	★ ★ ★	拡充・充実	当事業は、相模原市スポーツ振興計画の「生涯スポーツ社会の実現に向けた、地域におけるスポーツ環境の整備」とした目標達成に貢献している。	現状維持				

教育局

No	部名	担当課	予算上の 事務事業名	一次評価							今後の 進め方	事業所管課長説明	今後の 進め方	二次評価結果コメント	備考
				妥当性	有効性	効率性	民間導入	自動判定	今後の進め方	事業所管課長説明					
75	生涯学習部	スポーツ課	スポーツ振興事業	A	A	A	無	★★★	拡充・充実	当事業は、相模原市スポーツ振興計画の「豊かなスポーツライフ実現のためのスポーツ施設及びスポーツ情報提供体制の充実」とした目標達成に貢献している。	現状維持				
76	生涯学習部	スポーツ課	スポーツフェスティバル事業	A	A	A	無	★★★	拡充・充実	本事業は、スポーツ振興計画を推進していく上で、重要な事業の1つであるため、平成18年度の実績を踏まえた上、拡充・充実させる考えである。	見直し	事業主体を相模原市体育協会等に見直すことを検討すべきである。			
77	生涯学習部	スポーツ課	横山公園・淵野辺公園・小山公園運動施設管理運営事業	A	A	A	無	★★★	現状維持	施設は多くの市民に利用されており、スポーツ振興に貢献しているが、利用に対する施設数は不足しており、場の確保が課題であると考えている。	現状維持				
78	生涯学習部	スポーツ課	淵野辺公園銀河アリーナ管理運営事業	A	A	A	無	★★★	現状維持	スケート場については、周辺の施設の閉鎖が相次いでおり、市内だけでなく広域的な拠点施設となっている。管理運営にあたっては、指定管理者制度や利用料金制度を導入するなど、効率的な運営に努めている。	見直し	銀河アリーナの特徴である複数用途(アイススケート場、プール施設、トレーニング室)の効果的、効率的な管理運営のあり方について検討すべきである。			
79	生涯学習部	スポーツ課	県立相模原球場管理運営費負担	A	A	A	無	★★★	現状維持	市内では、プロ野球にも対応することのできる唯一の施設であり、県立の施設ではあるが、市民にとっても貴重な施設となっている。このため、今後についても、県との連携により球場を運営するものと考えている。	現状維持				
80	生涯学習部	スポーツ課	鹿沼公園・相模台公園・古淵鵜野森公園運動施設管理運営事業	A	A	A	無	★★★	現状維持	施設は多くの市民に利用されており、スポーツ振興に貢献しているが、利用に対する施設数は不足しており、場の確保が課題であると考えている。	現状維持				
81	生涯学習部	スポーツ課	相模原市体育館管理運営事業	A	A	A	無	★★★	現状維持	施設は多くの市民に利用されており、スポーツ振興に貢献しているが、利用に対する施設数は不足しており、場の確保が課題であると考えている。	現状維持				

教育局

No	部名	担当課	予算上の 事務事業名	一次評価					今後の 進め方	事業所管課長説明	今後の 進め方	二次評価結果コメント	備考
				妥当性	有効性	効率性	民間導入	自動判定					
82	生涯学習部	スポーツ課	総合体育館・北総合体育館・北公園スポーツ広場管理運営事業	A	A	A	無	★★★	現状維持	施設は多くの市民に利用されており、スポーツ振興に貢献しているが、利用に対する施設数は不足しており、場の確保が課題であると考えている。	現状維持		
83	生涯学習部	スポーツ課	総合水泳場管理運営事業	A	A	A	無	★★★	現状維持	施設は多くの市民に利用されており、また、大規模な競技会も開催され、市民のスポーツ振興に貢献している。	現状維持		
84	生涯学習部	市立図書館	施設維持管理事業	A	A	A	無	★★★	現状維持	築後30年以上を経過し、施設、設備の老朽化が進む図書館においては、効率的な維持管理が大変難しい。1日あたり2500人～3000人の来館者のある施設として、現状維持とした。	現状維持		
85	生涯学習部	市立図書館	施設運営事業	A	A	A	有	★★	拡充・充実	利用者のニーズに応え、施設運営の充実を図るためには、窓口業務等の管理運営一部委託を含め更なる拡充が必要である。	現状維持		
86	生涯学習部	相模大野図書館	相模大野図書館施設維持管理費	A	B	B	無	★★★	現状維持	施設の維持管理については、個別に委託化が進んでおり現状維持が妥当である。	現状維持		
87	生涯学習部	博物館	プラネタリウム事業	A	A	B	無	★★★	拡充・充実	プラネタリウムや全天周映画を通して自然や天文に親しみ、理解を深め市民の期待に応える必要がある。また、プラネタリウムソフト制作で、最新の情報を素早く番組に反映し速やかに市民要望を取り入れた内容とするには、年2作の制作本数を増やすなどきめ細かく内容の充実を図る必要がある。	現状維持		
88	生涯学習部	博物館	施設維持管理及び補修事業	A	A	A	無	★★★	拡充・充実	保守点検と、故障の未然防止を目的とした修繕の実施は、故障箇所数を抑制する効果が大である。今後、確かな未然防止に努め、故障箇所数及び維持管理費の抑制を図りたい。	現状維持		